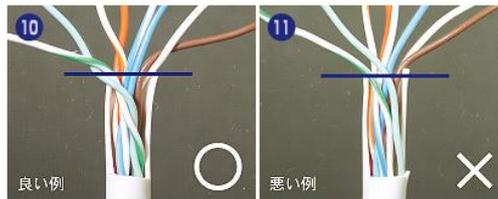
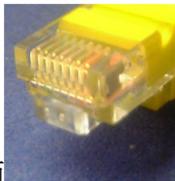


- (1) 他のページや資料で作成手順を呑み込んでおくべし (一番の実習目的).
- (2) 金属の刃のついた工具もあるので気をつけるべし.
- (3) 外側の被覆をストリッパで向く際は, 力を入れず軽く 1 回だけ回す
入れすぎると中の細い線を切ってしまうと心得よ.
- (4) 線の「撚り」をほぐす際, 被覆で覆われた 5 センチほども意識しながら
十分に撚りを根元からほぐすこと. これが以降の作業をうまく進む一番のコツ.
(被覆の中でよじれているとうまくコネクタに入らない)



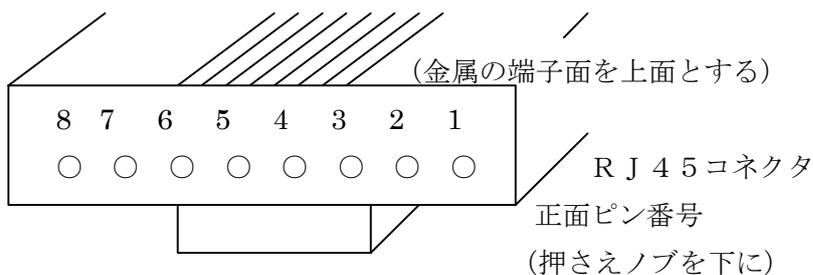
隠れた部分からほぐす→

- (5) 中の 8 本の細い線たちは剥かない.
- (6) RJ45 コネクタの向きとピン番号配列を間違えなければならない.



正面

(正面から見た図, 実習はこの向きを前提にしている)



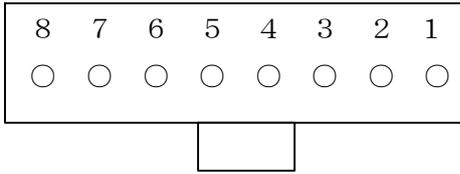
- (7) RJ45 に電線を差し込む時, ややコツが必要 (慣れるのも実習の目的).
不器用な者は, セロテープ (各自で用意) で揃えるとやりやすい (かも知れない).
- (8) 8 本の配列方法には 2 つの規格がある

「TIA/EIA568A」と「TIA/EIA568B」

本実習では 568B 規格として統一する.

ストレートの 2 番が「だいたい」, 8 番が茶色になるように配線することを厳守すべし.

- (9) 急ぐことが目的ではない. 自分の力で確実に完成することが大切.
- (10) 実習費用は 1 本 (RJ45 × 2 個と電線 1.5m) で 200 円を予定.
- (11) 完成後, 提出時に LAN テスターによるチェックを受ける (前の教卓で実施).
問題があった場合, 古い RJ45 を切り落とし再挑戦. RJ45 は 1 個 50 円程度.



TIA/EIA568B のピン番号とケーブル色別表 (空欄をすべて埋めるべし)

ピン番号	ストレート側	クロス側
1	色	色
2	だいたい (オレンジ)	緑 色
3		
4		
5		
6		
7		
8	茶 色	

ストレートケーブルの構造

ストレート面
←→
ストレート面

クロスケーブルの構造

ストレート面
←→
クロス面

両側ともクロス面にしてはならない!!!